

+++++  
◇公開シンポジウム「続 人文・社会科学と大学のゆくえ」の開催について  
(ご案内)

◇平成 28 年度共同主催国際会議「第 31 回国際心理学会議」の開催について

◇平成 28 年度日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会

「いのちを守る見事な仕組み」の開催について (ご案内)

◇ALCA (JST 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発) の平成 28 年度  
公募を開始しました

-----  
■  
公開シンポジウム「続 人文・社会科学と大学のゆくえ」の開催について  
(ご案内)  
-----

◆日時：2016 年 8 月 10 日 (水) 13:30 ~17:00

◆場所：日本学術会議 講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)

◆主催：日本学術会議 第一部 (人文・社会科学)

◆参加費：無料

◆定員：先着 300 名 (申し込みは不要です)

※定員を超えた場合は受付終了となりますのでご了承ください。

◆開催趣旨：

日本学術会議第一部は、人文・社会科学系学部・大学院の「組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換」を国立大学法人に求める 2015 年 6 月 8 日の文部科学大臣通知がもたらした、人文・社会科学と大学のゆくえについての大きな社会的関心と懸念とを受けて、7 月 31 日、緊急に公開シンポジウムを開催しました。

あれから 1 年、第一部では、これからの人文・社会科学はどうあるべきか、それを発展させるためには何が必要かについて、社会に向けたアピールを準備しています。その準備の一環として改めて公開シンポジウムを開催し、各界からの問題提起を受けて議論を深めたいと考えています。

前回と同様、学生・大学院生を含む大学関係者のみならず、この問題に関心をお持ちのメディアや市民の皆さまの幅広いご参加をお待ちしています。

◆次第：

13:30 趣旨説明

小森田秋夫

(日本学術会議第一部会員・第一部長、神奈川大学法学部教授)

13:40 問題提起

西垣 通 (東京経済大学コミュニケーション学部教授)

テッサ・モリス=スズキ

(オーストラリア国立大学アジア太平洋学群文化歴史言語学部教授)

片山 健志 (朝日新聞)

隠岐さや香

(日本学術会議連携会員、若手アカデミー会員、

名古屋大学大学院経済学研究科教授)

15:15 討論

司会

杉田 敦

(日本学術会議第一部会員・第一部副部長、法政大学法学部教授)

恒吉 僚子

(日本学術会議第一部会員・第一部幹事、  
東京大学大学院教育学研究科教授)

16:50 討論のまとめ

井野瀬久美恵

(日本学術会議第一部会員・副会長、甲南大学文学部教授)

17:00 閉会

平成 28 年度共同主催国際会議「第 3 1 回国際心理学会議」の開催について

会 期：平成 28 年 7 月 24 日（日）～29 日（金）[6 日間]

場 所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

日本学術会議及び公益社団法人日本心理学会が共同主催する「第 3 1 回国際心理学会議(ICP2016)」が、7 月 24 日（日）より、パシフィコ横浜で開催されます。国際心理学会議は、4 年に 1 度、オリンピックの年に開催され、世界最大規模の心理学者の会議です。日本での開催は 1972 年以来、44 年ぶりになります。今回は世界約 100 カ国から約 8,000 名の参加が見込まれます。

本国際会議では、『Diversity in Harmony : Insights from Psychology (多様性の中の調和 : 心理学からの洞察)』をメインテーマに研究発表と討論が行われます。グローバル化が進む中で、多様な文化、価値、歴史を持つ人間がどのように調和できるかということ、心理学的観点から明らかにしたいというねらいがあります。発表総数は約 7,900 件に上ります。

また、一般市民を対象とした公開講座と公開講演が、会期中に開催されることとなっております。関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただけますようお願いいたします。

#### 第 3 1 回国際心理学会議 (ICP2016)

○公開講座「自分の顔を探せ！～鏡が映す顔、心が映す顔～」

日 時：平成 28 年 7 月 24 日（日）12:30～13:30/14:00～15:00

会 場：パシフィコ横浜（ハーバーラウンジ）

中学生・高校生対象。定員制

○公開講演

日 時：7 月 24 日（日）13:30～14:30

山村浩二：アニメーションにおける運動はどう創造されるのか

7 月 25 日（月）17:20～18:20

北山 修：「見るなの禁止」について：恥の文化における深層心理学

7 月 26 日（火）17:20～18:20

柘植雅義：日本の教室における多様な学びと心理学の役割—その歴史、  
現在そして将来

7 月 27 日（水）17:20～18:20

内田伸子：児童虐待からの再生—児童虐待は脳の成熟にどのように影  
響を与えるか—

7 月 28 日（木）17:20～18:20

川島隆太：コミュニケーションの質は脳活動の同期で推測できる

7 月 28 日（木）18:40～19:40

越智啓太：犯罪捜査への心理学の応用—その歴史、現在、将来

会 場：パシフィコ横浜（メインホール）

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<http://www.icp2016.jp/>)

○公開講座 ([http://www.psych.or.jp/event/sympo2016\\_jibunokao.html](http://www.psych.or.jp/event/sympo2016_jibunokao.html))

○公開講演 ([http://www.psych.or.jp/event/sympo2016\\_icp.html](http://www.psych.or.jp/event/sympo2016_icp.html))

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当

(Tel : 03-3403-5731、Mail : [XXX@XXX.XX.XX](mailto:XXX@XXX.XX.XX))

平成 28 年度日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会  
「いのちを守る見事な仕組み」の開催について（ご案内）

- ◆日時：平成 28 年 7 月 22 日（金）14:00～16:10
- ◆場所：ニューウェルシティ宮崎（宮崎市宮崎駅東 1 丁目 2 番地 8）
- ◆主催：日本学術会議九州・沖縄地区会議
- ◆共催：宮崎大学
- ◆次第：
  - ・開会挨拶  
大西 隆（日本学術会議第三部会員・会長、豊橋技術科学大学学長、  
東京大学名誉教授）  
池ノ上 克（宮崎大学学長）
  - ・講演
    - ・「胎児は発達期の脳を守るために何をしているか」  
鮫島 浩（宮崎大学医学部教授）
    - ・「体の恒常性を維持する本能的機能とその調節物質」  
村上 昇（宮崎大学農学部教授）
  - ・閉会挨拶  
古谷野 潔（日本学術会議第二部会員・九州・沖縄地区会議代表幹事、  
九州大学大学院歯学研究院教授）
- ◆参加申込：不要
- ◆参加費：無料
- ◆お問い合わせ先：宮崎大学研究国際部研究推進課研究推進係  
TEL：0985-58-2882 FAX：0985-58-7860
- ◆詳細はこちら  
<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/227-s-0722.pdf>

ALCA（JST 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発）の平成 28 年度  
公募を開始しました

ALCA では、温室効果ガスの排出量を大幅に削減し得る『ゲームチェンジング・  
テクノロジー』創出を目指して、研究開発代表者を広く募集いたします。

- 募集する技術領域
  - (1) 特別重点技術領域「ホワイトバイオテクノロジーによる次世代化成品創出」
  - (2) 革新技術領域
- 研究開発期間（提案時）：(1) 4 カ年度、(2) 5 カ年度
- 研究開発費の規模（提案時総額）：(1) 4,600 万円以内、(2) 1 億 4 千万円以内
- 採択予定件数：(1) 数件程度、(2) 10 件程度
- 募集締切：平成 28 年 8 月 22 日（月）正午
- 募集説明会：平成 28 年 7 月 26 日（火）10～12 時 JST 東京本部別館
- 詳細 URL：<http://www.jst.go.jp/alca/koubo.html>

<お問い合わせ先>

JST 環境エネルギー研究開発推進部 ALCA グループ  
XXX@XXX.XX.XX

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@XXX\_XXX です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34